

# 週刊すず辰 (第352号) 令和1.8.13

今週も、“すず辰(すずたつ)”が厳選しました農家さんの野菜(果物)たちをお買い上げいただきありがとうございました。ぜひおいしいもの好きなお友達・お知り合いにもお声かけください。お客様の輪が八百屋の力になります。

## ●今週のピックアップ商品○(来週もあります。)

### 定番のみやこ南瓜か、栗の風味のくりりん南瓜か。

毎年の定番、森町のみよいさんの“くりりん南瓜”が先週から登場。有機栽培でホクホク甘く、栗の風味もありめちゃうまい！森町は火山灰地で水はけよく、南瓜の適地として、“みやこ南瓜”が有名ですが、みよいさんの“くりりん”も食べないともったいないです。栗の風味がしてホクホク甘い。カット売りますので、お好みのサイズ言うてください。



### ▲すず辰のこぼれ話▽ 次の京とうふは8/20、22、24、27、29です。

#### 【告知】8/13~17は平常営業です。

今週はお盆ですが通常営業します。

ついでに営業時間も11:30~18:30までで行きます。残念ながら、京とうふはどうふ屋さんがお休みに入るのでありません。残暑が意外に続いているので、冷酒でうまい日本酒をいつもより多めにし入れてますので、よかったらお試しくださいませ。

つまみには新潟の枝豆、香りとコクがなんともうまい“茶豆”に、焼いておいしい京都の“千両なす”と“万願寺とうがらし”、箸休めには人気を二分する道産ミニトマト、とにかく甘い“キャロル8”に、風味と甘さのバランスがよい“ほのか”などなどいろいろあり。

#### 温泉のチェックポイントは。

日曜日、次男(7)初の水泳大会@函館。50mクロールと背泳ぎを頑張りました。いつもクロール一本の長女(12)はメドレーレーでバタフライ担当。前回間違えて思わずクロールを泳ぎ失格になったため、皆さんにたくさん心配されていましたが無事バタフライをカ泳。長男(9)もはじめて200m混合メドレーに挑戦。

大会後、「つかれたから温泉行きたい」とのリクエストに、いつもとは違う市内の温泉に入っそうそう、息子二人から「いつものところより水ぶろが冷たい！」と報告が。

温泉のチェックポイントがそこ！？、とびっりの父。父としては、併設のレストランのおいしさが気になりますが、着眼点が違うものです。

こども食堂をやってみて、なんかこれって政治や社会と似てるのかもなぁーと思うことがあります。想いだけで金も人手も場所もなかった私が、「こども食堂やります！」って地元の新聞コラムで書いたら。人・もの・金が集まってきて、予想以上にできるようになり。

その時の集まり方が、金があるけど暇がない人は金を出し(毎月振り込んでくれる方もいます！)、金が大してないけど時間は作れる！、って人がスタッフとして参加し、物は出すよーって人(農家さん・肉屋さん・魚屋さん・米屋さん、味噌屋さんなど)は物を出し。それぞれができることを提供しあって、協力し合っ。

で、参加する子どもや保護者も。子ども100円、保護者500円(今年度より300円)の参加費を出し、その場を楽しむ。(万が一、お金が厳しい子が来た場合はタダにしようと思っています)すず辰店頭で募金してくれるお客さんも多く(月1万弱)、有難い限りです。

寄付金や食材で、結果運転資金は溜まっていて、ちゃんと子どもたちのために使わないとなつねづね思います。ある意味、寄付金や会費で集まったお金は「税金」みたいやなぁとも思ったり。皆が幸せになるために集まったお金で、そのために如何に有効に使えるかが問われていて。

毎月の活動で、いろんなことが起り、スタッフで話し合いをするわけですが、人それぞれ考え方に違いもあり、見てきたこと、経験値、取り組みへの考え方等々。リーダーは器を試されるなぁと高々ボランティア活動で沁みているこの3年ちよいです。

違いはあれど、その思いをちゃんと汲み取って、それぞれの想いをまとめてみると、予想以上の力になり、それが子どもたちのためになる。

「こども食堂やります！」と希望を社会に投げかけてみれば、あれよあれよといろんな方の協力で続いている現状を想い、いろんな課題が山積みの日本も、旗の振りようでどうとでもなりますし。その旗のもと、いろんな人が協力し合えればめっちゃいろいろのことができる！、ってのは実感ではあります。

というわけで、政治には期待しちゃうのです。

すず辰マガジンがウェブで読めるようになりました↓



#### 《すず辰について》

鈴木辰徳(辰年:43歳。12.9.7歳の3児の父)がH23に開業。「野菜で笑顔を結ぶ」をモットーに、作る人と食べる人の笑顔の架け橋となるべく、素敵な農家さん、野菜果物のおいしさ楽しさをご提案。路面での販売“マルシェすず辰”を経て、H25/3/25念願の店舗オープン！ マンガ“八百森のエリー”絶賛応援中！

函館市本通1-24-3(店舗) 店前・店横駐車可。  
平日11時半・土曜12時半開店 17時閉店(日祝日休み)  
TEL/FAX:0138-76-9865 メール: [suzutatsu831@ncv.jp](mailto:suzutatsu831@ncv.jp)  
HP: <http://suzutatsu831.com/>

店の隣、本通町会館で行う、はこだてこども食堂も、この8月で3年と4か月。毎月第3水曜日、子どもらの笑顔とともに、いっしょに料理をし、いっしょに食べる、を続けてこられたことに改めて深く感謝しております。

今後とも、子どもたちの笑顔を第一に、みんなでおいしく楽しく食卓を囲んで行けたらと思います。ご理解ご協力のほどよろしく願いいたします。



### 調理のおばちゃんの想い (17/1/20)

先月恋ダンスを練習していると言っていた女の子が出来るようになったと踊って見せてくれたり、寄付されたりんごやお菓子を一緒に配ったり。鬼ごっこで熱くなってシャツ1枚になる子も。

今の世の中 親や先生、顔見知り以外の大人とこどもの接点が少なくなって来ていて 声をかけると変質者扱いされかねないし こどもの声がうるさいと保育園に苦情が入ったりする。

こどもって うるさくて しつこくて めんどくさくて  
でも こどもってそんなものじゃない？

ただ昔と違うのは、  
「こどもってそんなものじゃない？」って思う人達が減ってしまった事かな。

こども達が遊ぶ声、泣く声 走る姿に生きる力を感じる。

ふざげすぎて叱られることも お手伝いでほめられることも いっぱい体験してもらいたいし

こども食堂に来たときには 一緒に作って、食べて 遊んで 楽しんでほしいと調理のおばちゃんは願ってます

### ◆地域で子どもを育む場の一つになれたらと思っています。◇

(2016年)5月に「はこだてこども食堂 ～つくってたべよ いっしょにたべよ～」をスタートさせてから、今日で4回目を迎えます。現状こども会員が28名。1回の開催でいたい20名前後の子どもたちが参加してくれています。当初の予想に反し、子どもたちが調理を始め、お手伝いを積極的にしてくれるため、子どもたちに任せる準備に追われる始末。うれしい悲鳴です。

「こども食堂」というと、世間的には「孤食や貧困」の対策として始まったことがクローズアップされがちです。問題の根っちは地域の大人が、地域の子どもの成長を見守りづらくなっている今の社会状況にあるように感じています。もし本当に食べるに困っている子どもが目の前にいたら、多くの人が手を差し伸べるはずです。(実際、はこだてこども食堂をやるに当たり、多くの方から「子どもたちのために」と有形・無形の援助をいただいています)しかし、現代は見た目にはわかりづらい状況がありますし、そもそも普段接点のない子どもに大人がいきなり関わろうとした瞬間、「不審者扱い」を受けかねない状況があります。地域で子どもに声をかけただけで、不審者として通報されてしまったり。

まずは地域の大人と子どもが自然と関われる場として、こども食堂があればいいなと思っています。関係ができれば、子どもたちが何か問題を抱えた時に、親御さんとは別の、第3の(信頼できる)大人として子どもたちをサポートすることができます。お腹を空かせていたら、いくらでもおせっかいをやけますし、友達のことでも悩んでいたなら話を聞いてやることができます。人間、人に話を聞いてもらうだけで問題が解決するってこともあるものです。

そして、いろんな年代の子どもや大人と関わるのが子どもたちにとって良い経験として、いろんなことを学んでくれる場になってくれたらとも思っています。核家族化が地方でも進んでいる今、子どもたちは人と関わる経験が不足しているのではと心配になることがあります。人間は“人のあいだ”で育ってこそ人間として成長するのだと思うのです。

細田守監督のアニメ映画「サマーウォーズ」の登場人物、栄おばあちゃんの言葉にこんなのが出てきます(映画はぜひお子さんと観てみて下さい)。

『一番いけないことは お腹がすいていることと 一人でいることだから』

人間 お腹がすいていると力が出ません。そして、(物理的にも、精神的にも)一人でいると力がわきません。

ゆるやかに子どもたちの成長を見守らせていただけたら、こんなにうれしいことはありません。(16/8/18)